

令和6年度 第37回 ヒゴタイ交流生来村 (令和6年10月6日～10月26日)



送別式典アトラクションでタイの伝統的舞踊（タイダンス）を披露する4名の交流生たち



送別式典のフィナーレでアーチを作り、盛大な拍手で交流団の方々を見送る学園生

学園生、ホストファミリー、職員及び来賓の方々の温かい拍手と笑顔の中に見送られ、5人の交流団の皆様方が退場していきました。学園生一人一人に、微笑みながらお礼の品を渡す交流生。中には学園生と涙を流したり、抱き合ったりする姿など……。 「お互いの絆を、両国の未来につなぐ」という強い絆と志、37年間の交流の軌跡を感じる瞬間でした。

発行 : 産山村立産山学園・産山村教育委員会

ようこそ!日本へ!産山村へ! (10/6)



ウェルカムボードで迎える学園生



福岡国際空港到着ロビーにて

○福岡国際空港(受入)

10月6日(日)福岡国際空港の到着口で、カセサート校の生徒4名と引率の先生1名のお出迎えをしました。

久しぶりに再会する生徒同士には笑顔がこぼれ、ハイタッチする光景も見られました。

交流生及びホストファミリー紹介



【名前】
ルッチ チャロン
ラブナムチャイ
【ニックネーム】
ルッチ

【名前】
サヴィチャコン
シンクン
【ニックネーム】
クン

【名前】
スパッタラチャイ
スントンヴィパット
【ニックネーム】
バード

【名前】
パリマー
アッタタム
【ニックネーム】
プリム

【名前】
ヴィランパット
タンバニット
【ニックネーム】
ガッジャン



高橋さんファミリー(8年生)



酒井さんファミリー(8年生)



飯野さんファミリー(8年生)



加藤さんファミリー(8年生)



井さんファミリー(9年生)

各ホストファミリーの皆様方には、3週間、引率の先生と交流生に、温かく親身になってかわっていただき、ありがとうございました。

笑いあり、気遣いありとご苦労もあったかと思いますが、おかげさまで、5名は産山でのかけがえのない時間を充実して過ごせたことに喜びを感じていました。

歓迎式典・歓迎レセプション (10/7)



歓迎式典・歓迎レセプション

10月7日に農林水産省九州農政局地方参事官様をはじめ、多くの来賓の方々をお招きして、産山学園体育館にて盛大に歓迎式典が執り行われました。また、同日夜には交流団との親睦を深めるために、ホテルサンクラウン大阿蘇にて、歓迎レセプションが行われました。

産山学園での様子(交流と学習)



7年学級歓迎会



5年英会話活動



引率の先生との交流給食



後期課程かるた交流



8年学年PTA活動餅つき



体育剣道授業



全学年交流遊び



記念植樹



9年学級送別会

交流生は後期課程の各学級（7年：1名、8年：2名、9年：1名）に在籍し、本学園生と原則同じ教育活動を行いました。特設授業として、和楽器（箏）の体験や武道（剣道）体験、着付け体験、調理実習、習字、記念植樹、部活動体験も行いました。前期課程の学園生との交流は、英会話の学習や給食時間及び昼休みに行いました。昼休みには運動場で前期課程の学園生とボール遊びや鬼ごっこを楽しむ交流生の姿がよく見られました。

地域交流と日本の伝統文化を学ぶ (10/11・15・24)



○陶芸体験活動

佐伯公範（前教育委員）さんを講師に、ホストファミリープログラムとして、陶芸体験活動を行いました。当日はカップや皿、器などをイメージして成形の製作を楽しみました。完成後はタイに送る予定です。



○着付け・料理体験活動

専門の技術を有した村の地域ボランティアを招へいして行いました。着付けでは茶道体験も併せて行い、料理体験では、新米を使った巻き寿司作りに挑戦しました。日本の文化に興味を持ち感動していたようです。

表敬訪問と体験活動 (10/8・16・17)



○ほっと館・保育園訪問

村の施設訪問として、ほっと館と保育園を訪問しました。自己紹介・タイダンス披露・質疑応答を行いました。タイダンスの衣装をまとった交流生の姿に、利用者や園児たちも魅了されていました。



○国・県関係表敬訪問

九州農政局、熊本県知事部局、熊本県教育庁及び熊本県阿蘇教育事務所を訪問しました。県の訪問では、熊本県の営業部長兼しあわせ部長である「くまモン」もサプライズ登場してくれました。



○阿蘇中央高校体験活動

阿蘇中央高校で、日本の伝統文化等に触れる学習として、書道・農業及び剣道体験をさせていただきました。書道では、ニックネームを漢字に変換し、その一字をうちわに書き記しました。

表敬訪問や体験活動を通して、交流団の方々は言葉の壁があっても、「関わろうとする心」「触れあおうとする心」を大切にして、関係の方々のことを理解しようと努めていました。国の違いを乗り越え、心の交流ができたものと実感しています。